

事業番号	10 03 01	事業改善シート（令和 6 年度実施事業分）			☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ☒ 点検		
事業名	県産材の利用を促進する事業			部局	林務部	課・室	県産材利用推進室
				実施期間	～	E-mail	mokuzai @ pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

・令和4年度民有林森林資源（蓄積）は、140,000千m3で、着実に充実しつつあり、県外合板工場（R4年素材生産量：合板用231千m3）やバイオマス発電等の需要増加（R4年素材生産量：バイオマス用162千m3）に伴い、素材生産量は541千m3（H29）から629千m3（R4）へ増加した。 ・一方で、県内の製材品出荷量は、新設住宅着工数に占める木造率が74.1%(H29)から73.5%（R4）と伸びない中で、116千m3（H29）から104千m3（R4）へ減少している。 ・こうした中、品質の確かな県産材製品を製造し、今後需要の拡大が見込まれる非住宅分野への活用に加えて、県産材製品等の利用拡大を通じて、地域へ利益を還元することが求められている。 ・また、いわゆるウッドショック等の社会情勢に左右されにくい木材供給体制の構築が求められており、県産材の加工・流通、木質バイオマス利用促進に係る事業者への支援や川上から川下までの事業者同士の水平・垂直連携を支援することで、安定的な県産材の供給体制の構築を図る必要がある。
--

2 事業目的

森林資源の有効活用により地域内経済循環を促進するとともに、県産材の付加価値向上・普及啓発や安定的な県産材供給体制の構築を通じ、県産材の利用促進を図る。

3 事業目的を達成するための取組

①県産材製品の需要拡大 ・県産材の普及啓発を図るため、民間施設・公共施設等における木造木質化を支援 ・暮らしに木を取り入れる等の「ウッドチェンジ」の取組を推進するため、県産材製品の開発及び販路開拓等を支援 ・県内産ベレットの消費拡大を図るため、個人向けベレットストーブの導入を支援	
②木材産業の振興 ・県産材の加工・流通、木質バイオマス利用促進を図るため、木材加工施設や木質バイオマス利用促進施設等の整備を支援 ・木材産業の事業者が運転資金を確保できるよう、低利子での融資を実施	
③安定的な県産材供給体制の構築 ・県産材製品を加工する事業者同士の連携体制や顔の見える供給体制を構築するため、信州ウッドコーディネーターを派遣 ・県民が気軽に県産材の情報を手に入れることができるように県産材製品に関する情報の収集・分析・発信を行う ・「林地残材」の活用に向けて、中間土場等を活用する取組や地域の事業者によるサプライチェーンの構築を支援	

4 成果指標

（推移の凡例 ♯：改善 ♮：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度	R5年度		R6年度	R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績			
①	木造・木質化の箇所数	箇所	11	7	♮	12	♯	11	長野県森林づくり県民税に関する基本方針においてモデル的な木造施設等を地域毎に創出することにより森林づくり県民税の認知の向上につながるように、R9年度まで5年間に55箇所にするのが長期目標であるため、11箇所を目標とする。
②	製材品出荷量	千m3	104	87	♮	83	♮	125	R6年目標値は製材品需要の伸び率等を考慮して、125千m3と設定。
③	新たな水平・垂直連携体制の構築	件	1	2	♯	3	♯	2	連携体制の構築は、着実なコーディネーター活動が求められることから、木材加工事業者同士の水平連携や川上から川下までの顔の見える供給体制(垂直連携)の構築件数2件を目標とする。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近 3 か年の状況					目標		
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	☆林業産出額(うち木材生産)	百万円	2021 (R3)	7,413	2022 (R4)	8,790	2023 (R5)	7,484	2027 (R9)	7,170
2-1②	成長産業の創出・振興	木材生産量	千㎡	2022 (R4)	629	2023 (R5)	629	2024 (R6)	657	2027 (R9)	830

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R6年度	383,760	311,655	560,658	1,256,073	18,061	663,107	18.0
R5年度	80,600	486,361	264,430	831,391	8,797	445,814	19.7
R4年度	21,640	504,513	25,807	551,960	8,579	438,065	16.6

事業番号	10 03 01	事業改善シート（令和 6 年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	県産材の利用を促進する事業		部局	林務部	課・室	県産材利用推進室

7 主な取組実績と成果

①県産材製品の需要拡大

・県産材の普及啓発を図るため、民間施設・公共施設等における木造・木質化による事業を実施した結果、12箇所において、木造・木質化を行うことができた。

・県産材製品の開発及び販路開拓等を行う事業者11者に対して支援を行った結果、組木キットや木製ボードゲーム等の新たな県産材製品を開発することができた。

・ペレットストーブ導入支援を行う市町村に対して補助事業を実施した結果、72台のペレットストーブが導入され、信州産ペレットの消費拡大につながった。

②木材産業の振興

・県内の木材加工施設 4 箇所への機械導入・貯木場整備に対し支援し、木材産業の競争力強化を図った。

・木質バイオマスを熱利用するための燃焼機器を 8 台導入し、木質バイオマスの需要拡大を図った。

・木材産業の育成強化のため運転資金を低利融資で行うための原資として、131,000千円を市中銀行 2 行へ預託。事業者 1 者に対して20,000千円の貸付実績。

③安定的な県産材供給体制の構築

・8 人の信州ウッドコーディネーターを配置し、都市部自治体等への県産材製品の P R、商談の場の創出等に加えて、県内木材加工者同士の連携体制（水平連携）や川上から川下までの連携体制（垂直連携）の構築支援を行った。

・川上から川中、川下までの関係者が連携して持続的な木質資源の新たな活用システムとして信頼関係のあるサプライチェーンの構築を図るための体制づくりに対する取組を支援した。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ①	木造・木質化の箇所数	R5年度推移	↘	R6年度推移	↗	達成状況	達成
依然として資材高騰等の影響が続いている状況ではあるものの、事業の広報に努めるとともに募集時期を早めるなどの執行上の改善を図った結果、R 6 年度は増加に転じた。							
指標 ②	製材品出荷量	R5年度推移	↘	R6年度推移	↘	達成状況	未達成
県内の新設木造住宅着工戸数は増加（R5:8,273戸→R6:8,375戸、1 %増）したものの、県産材の主要な需要先である在来軸組工法による建築が減少（R5:6,151戸→R6:5,909戸、3.9%減）したことが、製材品出荷量の減少の背景の一つと考えられる。							
指標 ③	新たな水平・垂直連携体制の構築	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況	達成
信州ウッドコーディネーターの働きかけにより、素材生産を担う団体と県内の製材工場が連携して、住宅関連団体の会員へ県産材製品を供給する体制を構築することができた。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記 7、8 及び県民の意見等を踏まえた課題

品質の確かな県産材製品を製造し、今後需要の拡大が見込まれる非住宅分野への活用などに加えて、県産材製品等の利用拡大を通じて、地域へ利益を還元することが求められている。

また、社会情勢に左右されにくい木材供給体制の構築が求められており、県産材の加工・流通、木質バイオマス利用促進に係る事業体への支援や川上から川下までの事業者同士の水平・垂直連携を支援することで、安定的な県産材の供給体制の構築を図る必要がある。

具体的な課題としては、信州ウッドコーディネーターがより効果的に活動を展開できるように、県産材製品に関する情報の収集・解析・発信をする必要がある。また、引き続き、一般県民等が木を暮らしに取り入れる意識の醸成を図っていくことが必要である。

木材産業循環成長対策事業においては、木材加工施設整備の補助要件に J A S の取得があり、小規模事業者には大きな制約となっている。

(2) 事業改善の方策

・木材に係る需給情報の収集・分析の効率化を図るほか、県産材製品を扱う事業者に関する情報をホームページ等で掲載する等、信州ウッドコーディネーターがより効果的に活動できる体制の構築を図る。

・ウッドチェンジ普及促進支援事業においては、テーマを設定し、地域や時代のニーズに応じた製品開発・販路開拓を推進することで、木を暮らしに取り入れる意識の醸成を図る。

・木材産業循環成長対策事業は、国庫補助事業となるため、林野庁へ要件緩和等の要望をしていくとともに、事業者から課題を聞き取りながら、現状でも対応できる支援策を検討する。

事業名	県産材の利用を促進する事業	部局	林務部	課・室	県産材利用推進室
-----	---------------	----	-----	-----	----------

細事業No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	あたりまえに木のある暮らし推進事業		44,754 千円	10,317 千円	26,646 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	広く県民が利用する施設等の木造・木質化	補助金 直接	民間施設等の木造・木質化等の支援 県有施設の木造・木質化等の推進 民間施設等への支援7箇所、県有施設の推進5箇所		
2	長野県産材CO2固定量認証	直接	木材のCO2固定効果が地球温暖化防止に貢献することをPRするため、県産材住宅等のCO2固定量の認証と制度の普及啓発を行う。 認証数5件		
3	木工体験の推進支援	補助金	子どもが行う木工教室、木工工作に関するコンクールの開催を支援 木工教室3回、木工工作に関するコンクール1回		

細事業No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
2	信州の木と住まいの総合対策事業		148 千円	231 千円	883 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	普及啓発経費支援	直接	県産材の利用促進を図るため、建築士など施工者側への普及啓発を実施 木材活用のセミナー等3回		

細事業No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
3	ウッドチェンジ普及促進支援事業		9,610 千円	11,999 千円	10,088 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	県産材製品開発・販路開拓等の支援	補助金	県産材製品への転換を促進するための新製品の開発及び販路開拓等を支援 補助件数11件		

細事業No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
4	木質バイオマス循環利用普及促進事業		6,389 千円	5,834 千円	5,325 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	個人向けペレットストーブ導入支援	補助金	木質バイオマスの利用拡大を図るため、県民のペレットストーブ購入を支援 県民のペレットストーブ購入支援72台		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
5	木材産業循環成長対策事業		95,102 千円	143,044 千円	349,488 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	木材加工流通施設整備費 木質バイオマス利用促進施設整備費	補助金	木材産業の競争力強化を図るため、県産材の加工・流通と木質バイオマスの利用を促進する施設整備を支援		
			木材加工流通施設整備4箇所、木質バイオマス利用促進施設整備1箇所		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
6	地域木材産業活性化推進事業		267,370 千円	267,393 千円	196,546 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	木材産業等高度化推進資金貸付 農林漁業信用基金償還金	貸付金	木材産業の育成強化及び活性化を図るため、運転資金の低利の融資を実施		
			貸付1件		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
7	ウッドもっとなぐ事業		5,125 千円	6,996 千円	12,496 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州ウッドコーディネーターの派遣	委託	信州ウッドコーディネーターを都市圏自治体や大手ビルダー、県内の製材工場等へ派遣し、県内の木材加工事業者同士の連携体制や顔の見える供給体制構築を支援		
			信州ウッドコーディネーター活動回数209回		
2	県産材製品情報の収集・解析・発信	委託	県内の木材市況や木材流通等の現状を調査するとともに、県産材製品の情報を掲載するポータルサイトを構築し、情報発信を行う		
			調査の実施3件、ポータルサイトの構築1回		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
8	県民参加型予算事業費		— 千円	— 千円	8,405 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	【上伊那地域振興局】 上伊那地域産材利活用促進事業	負担金	地域の関係者が参加する協議会を設立し、地域材製品を一括してPRする場の創出や認知度の向上とともに、実際に手に取る機会を創出するなど、リアルとオンラインを組み合わせた取組により地消地産、地域内経済循環の促進を図る。		
			出品事業者数（HP掲載者数）27者		

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
9	未利用材等活用システム構築支援事業	－ 千円	0 千円	53,230 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	未利用材等活用システム構築に向けた取組に対する支援	補助金 直接	地域の実情に応じた木質資源の活用システムの構築に向けた諸費用に対し支援 サプライチェーンの構築 3事例	

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
10	地域森林資源利活用システム構築支援事業	－ 千円	－ 千円	0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	林地残材を含めた森林資源活用システム構築に向けた取組に対する支援	補助金 委託 直接	地域の実情に応じた林地残材等の活用システムの構築に向けた体制整備に対し支援 翌年度へ繰越	